

2012年7月10日

神奈川大学 産学連携事業
「本の架け橋プロジェクト」 御中

ブルサコ日本語学園
学園長 〇〇〇 〇〇〇
維持会長 〇〇〇 〇〇〇〇〇

拝啓

盛夏の候、皆様にはますますご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。
このたびは、絵本を寄贈していただき、まことにありがとうございました。
早速、低学年の授業で使わせていただきました。子どもたちは大変興味を持って
それぞれ好みの絵本を手に取り見入っていました。

本学園は首都ブエノスアイレスから南 20 km の郊外にある住宅街にあり、日系
人の蔬菜業者や花卉栽培者が多く、「ブルサコ日本人会」の傘下において学校が成
り立っています。

1934年に開校され 1941年にはアルゼンチンの公認校となっていましたが、第二
次世界大戦で閉校しました。後 1952年に再び開校し現在に至っています。今年
は創立 60 周年で 10 月には記念式典を行う予定です。

日系子弟対象の日本語の授業は毎週土曜日、午前 9 時から午後 5 時までです。
生徒は幼稚園児から中学生まで 90 名で、ほとんどの生徒が家庭で日本語が使え
ない環境にあります。こういうことからして、日本語学校での「継承日本語」は
欠かせないもので、日本の絵本や紙芝居、伝統文化、習慣等の書籍や物品等は大
切な教材となります。

また、毎週火・水曜日はアルゼンチン人（50 名）を対象に週 2 時間日本語の授業
も行っており、その学習者にも日本の文化習慣等を伝えています。

寄贈していただきました絵本は幼稚園児や低・中学年の教材として大切に活用
させていただきます。

どうも、ありがとうございました。

敬具



新しい絵本を手にとって
大喜びの一年生です。

2012年6月



自分の好きな絵本に見入っています。

2012年6月